

飛驒牛の家具用革を開発

マキノウッドワークス なめし工程にこだわり

オーダーメイド木製家具の製造販売を手掛けるマキノウッドワークス（本社高山市一之宮町、牧野泰之代表、電話090・8675・3970）は、飛驒牛の家具用革「HIDA・Leather」（ヒダレザー）を開発し、ヒダレザーと飛驒産ナラ材を

オーダーメイドソファ受注開始

使用したソファの受注を開始した。ヒダレザーは提携先の高山化成（本社高山市冬頭町）から飛驒牛の原皮供給を受け、なめし工程にもこだわり完成させた。今後は新たな「飛驒ブランド家具」として幅広い商品に使用する計画。

（高山）



牧野泰之代表

創業は2001年。オーダーメイド木製家具の製造販売を展開している。工務店や設計事務所からの受注が主体で、住宅のキッチン

やテーブルなどを提供。素材は飛驒産のナラ材で、木材市場で原木を買い付けて調達している。

ヒダレザーのオーダーメイド家具の商品開発は、今年3月に補助事業「小規模事業者販路開拓支援事業」に採択されたことを契機に検討を開始。4月には高山

化成と飛驒牛の原皮供給で業務提携した。

飛驒牛の革は、ランドセルや財布などの革小物には利用されているが、家具の素材には使用されていない。家具に使用するには革の柔軟性と耐久性、経年美化する仕様が求められる。そのため原皮のなめし工程にもこだわり、姫路市の製革業者の協力で「タンニンなめし」を採用した。

現在、ヒダレザーと飛驒

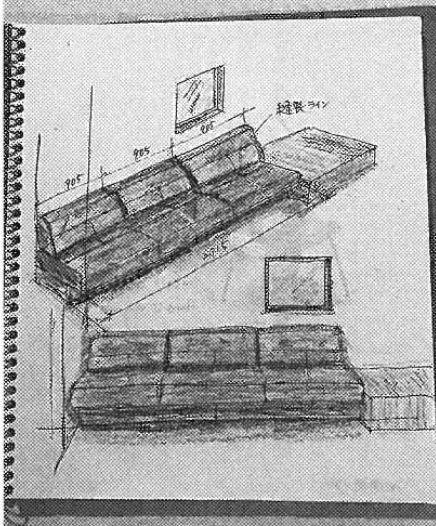
中部経済新聞

平成29年 8月 22日付

産ナラ材を使用したソファを2台製造している。8月下旬の完成見込みで、オープンハウスで展示する予定。牧野代表は「ヒダレザー



マキノウッドワークスの本社



を使用した新しい飛驒ブランド家具の商品開発を進め、飛驒牛と飛驒地域のアップル拡大につなげたい」と話している。

ヒダレザーを使用したソファのデザインスケッチ